



概要

GPC-4115 は、Windows 上から、LAP-B 通信ボードの制御を行うためのソフトウェアです。LAP-B 通信ボードを Windows 上のアプリケーションから DLL をダイナミックリンクし、API をコールすることにより制御します。インストールしてすぐ使える通信ユーティリティのほか、動作不具合時の原因を容易に判断するための自己診断機能、各言語によるサンプルプログラムが付属しています。

特長

- LAP-B 手順の protocols 制御を全て自動的に実行します。
- フレーム構成、アドレス監視、CRC チェック等を全て自動的に実行します。
- データ再送などの誤り回復手順を全て自動的に実行します。
- 最大 80 ポートまで増設できます。(PCI-4115/4156/4157,CTP-4156/4157 混在時。各ボードは 16 枚まで、又、同一型番の PCI と CTP を混在させる場合は、合わせて 16 枚まで)
- 一つの I フレームで最大 16383 バイトのデータ送受信が行えます。
- ボード上に送信バッファが用意してあるため、連続してデータ送信が行えます。
- ボード上に受信バッファが用意してあるため、アプリケーションプログラムが他の処理を実行していても、データ取りこぼしが発生しません。
- ボードからのイベント発生時にて、ユーザアプリケーションにイベントを通知できます。
- ボードからのイベント発生時にて、ユーザが登録した処理(コールバックルーチン)を実行することができます。
- ボードからのイベント発生時にて、指定されたウィンドウへメッセージを送ることができます。
- 画面上で機能や使い方を説明するオンラインヘルプをサポートしていますので、開発中に関数の詳細説明など、簡単に参照することができます。

対応 OS

Windows 11 x64
 Windows 10 IoT Enterprise x64
 Windows 10 x64
 Windows Server 2012 R2

対応言語

Microsoft Visual C++ 2015
 Microsoft Visual C# 2015
 Microsoft Visual Basic 2015

注意事項

—